

「宗吾霊堂」

市では、市民の皆さんに市内の施設や発展状況を紹介し、市政に対する認識と理解を深めてもらおうと、毎年4回、施設見学会を開催しています。「施設見学会紙上ツアー」では、今までに見学した施設から、好評だった見学先にスポットライトを当て、皆さんに紹介します。



満開の桜で華やぐ宗吾霊堂

宗吾霊堂(鳴鐘山東勝寺)は、今から1,200年ほど前、桓武天皇の時代に征夷大將軍・坂上田村麻呂が房総地方を平定したときに、戦没者を供養するため建立されました。

今では、佐倉宗吾(木内惣五郎)を祭る菩提寺として広く知られています。

承応元(1652)年、公津村(現成田市)の名主だった宗吾は、凶作と重税に苦しむ農民を救うため、当時禁じられていた将軍への直訴を決行し、その罪により処刑されました。

その宗吾の伝記を脚色した「佐倉義民

伝」は、歌舞伎の舞台で何度も上演されるなど、全国に知られています。

宗吾霊堂には、その生涯を66体の等身大の人形で再現した「宗吾御一代記館」(有料)があり、当時の様子をしのぶこともできます。

またほかにも、大正10(1921)年に再建された「本堂」をはじめ、昭和10(1935)年に開館し、宗吾の遺品などを展示している「宗吾霊宝殿」(有料)など、歴史ある建造物もあります。

皆さんも、義民・佐倉宗吾の歴史に触れてみませんか。

見学したい人は

参詣できる日=年間を通して参詣できます

参詣できる時間=24時間

参詣料=無料

※「宗吾御一代記館」「宗吾霊宝殿」は、月曜日(祝日と重なった場合は火曜日)が休館日、見学できる時間は午前8時30分～午後4時です。くわしくは宗吾霊堂(☎27-3131)へ。



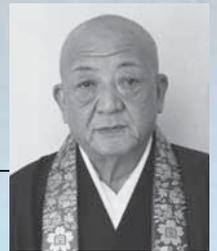
住所: 宗吾1-558

見どころを教えてください!

宗吾霊堂寺務長に聞きました

寺務長

かたよせ しょうぶん
片寄 照文さん



宗吾霊堂では、年男・年女による豆まきが本堂で行われる「節分会」、白く輝くような花をつける柏葉アジサイをはじめ、約7,000株のアジサイが咲き誇る姿を楽しむ「紫陽花まつり」、佐倉宗吾の命日(9月3日)にちなんで行われる「御待夜祭」など、年間を通してさまざまな行事を開催していて、毎年多くの人でにぎわいます。

1月中は、家内安全などを祈念する大護摩修行が随時行われ、2月3日に行われる「節分会」では、江戸時代から伝承されている、とび職人の「はしご乗り」を境内で見ることできます。皆さんぜひ一度、宗吾霊堂に足を運んでみませんか。



僧侶が佐倉宗吾の歴史をひも解く(平成22年11月16日の施設見学会)

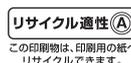
編集後記

この年末年始は9連休という人も多かったのではないのでしょうか。誰もがホッとするとこの期間ですが、広報紙作りにとってはこれが大敵です。休みの前後に大変なしわ寄せを受けるのです。12月には1月1日号・15日号と2月1日号の編集が同時進行の忙しさ。そして休み明けの仕事始めの日には1月15日号の校了と2月1日号の初校が重なる事態に。ただでさえ慌ただしい年末年始の広報紙作り。長期の休みは痛しかゆしというところです。

平成26年1月15日号 No.1259

成田市のホームページ

<http://www.city.narita.chiba.jp>



広報なりたは、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙、誰にでも読みやすいUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています。